

部品番号：WEB2082

名称：LOCTITE 577

安全データシート
Safety Data Sheet (SDS)

商品の販売元：

住友建機販売株式会社

住所： 〒141-6025

東京都品川区大崎二丁目 1 番 1 号(ThinkPark Tower)

担当部門：カスタマーサポート部 部品グループ

電話： 050-9001-6447

FAX： 03-6866-5112



安全データシート

Page 1 of 14

LOCTITE 577 NEW

SDS No. : 541371

V001.3

ヘンケルジャパン株式会社

改訂: 05.03.2023

発行日: 08.08.2023

1. 化学物質等及び会社情報

製品コード : 2099612
製品名: LOCTITE 577 NEW

推奨される用途 : 接着剤

会社名 :
ヘンケルジャパン株式会社
東京都品川区東品川2-2-8
スフィアタワー天王洲 14F
140-0002
電話番号 : +81 (45) 758-1800

2. 危険有害性の要約

GHS分類 :

危険有害性クラス	危険有害性区分	標的臓器
皮膚刺激性	区分 2	
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激	区分 2	
急性		
皮膚感作性	区分 1	
特定標的臓器毒性 - 単回暴露	区分 3	気道刺激性
水生環境有害性 短期（急性）	区分 3	

GHSラベル要素:

絵表示:



注意喚起語:

警告

危険有害性情報:	H315 皮膚刺激。 H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。 H319 強い眼刺激。 H335 呼吸器への刺激のおそれ。 H402 水生生物に有害。
安全対策	P261 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。 P264 取扱い後はよく手を洗うこと。 P271 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。 P272 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。 P273 環境への放出を避けること。 P280 保護手袋、保護眼鏡及び保護面を着用すること。
応急措置:	P302+P352 皮膚に付着した場合: 多量の水と石けんで洗うこと。 P304+P340+P312 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分がわるいときは医師に連絡すること。 P305+P351+P338 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 P333+P313 皮膚刺激または発疹が生じた場合: 医師の診断/手当てを受けること。 P337+P313 眼の刺激が続く場合: 医師の診断/手当てを受けること。 P362+P364 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
保管:	P403+P233 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。 P405 施錠して保管すること。
廃棄:	P501 廃棄するときは、適用法令、及び製品特性に従い、適切な処理・廃棄施設に内容物/容器を廃棄すること。

製品ラベルの有害性情報は、個別の安全データシートの記載内容と異なる場合があります。

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物: 混合物

危険有害成分及び濃度

成分	wt%
1,4-ブタンジオールジメタクリレート	>= 10 - < 20 %
トリエチレングリコールジメタクリレート	>= 2.5 - < 10 %
ポリエチレン	>= 1 - < 10 %
二酸化ケイ素 (アモルファス)	>= 1 - < 10 %
1-アセチル-2-フェニルヒドラジン	>= 0.1 - < 1 %
マレイン酸	>= 0.25 - < 1 %
2-メチル-1,4-ナフトキノン	>= 0.0025 - < 0.025 %

4. 応急処置

皮膚にかかった場合:	流水とせっけんでよく洗い流すこと。 医師の診察を受けること。
眼に入った場合:	直ちに流水で数分間注意深く洗うこと。必要場合は医師の診察を受けること。

- 飲み込んだ場合：** 口をすすぐこと。水を1-2杯飲ませること。無理に吐かせないこと。医師の診察を受けること。
- 吸入した場合：** 新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。医師の診察を受けること。

5. 火災時の措置

- 使ってはならない消火剤：** 火災が起きた場合は容器に散水して低温を保つ。
- 適切な消火剤：** 二酸化炭素、泡、粉末
- 使ってはならない消火剤：** 不明
- 火災時の特有の危険有害性：** 炭素酸化物、窒素酸化物、刺激性有機蒸気。
- 消火活動を行うものの特別な保護具及び予防措置：** 自給式呼吸器および出動服の様な全身保護服を着用すること。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置：** 皮膚および眼への接触を避けること。
十分な換気を保つこと。
- 環境に対する注意事項** 下水管に流さないこと。
- 封じ込め及び浄化の方法及び機材：** 少量の場合紙タオル等で拭き取り、廃棄用容器にて保管すること。
大量の漏洩に対しては、不活性な材質のものに吸収させ廃棄するまで、密閉できる容器に保管する。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い
安全取扱い注意事項** よく換気された場所で使用すること。
感作の危険を防ぐため長時間若しくは、繰り返しの接触は避けること。
皮膚および眼への接触を避けること。

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度

日本産業衛生学会

成分【規制物質】	ppm	mg/m ³	値型	短期暴露限界カテゴリー/備考	Regulatory list

ヘンケルジャパン株式会社

ポリエチレン [その他の無機および有機粉塵,総粉塵]		8	時間加重平均(TWA):		JPISOH OEL
ポリエチレン [その他の無機および有機粉塵,吸入性粉塵]		2	時間加重平均(TWA):		JPISOH OEL
二酸化ケイ素 (アモルファス) [土石,岩石,鉱物,金属又は炭素の粉じん]		0.025	管理濃度:	ばく露限界値は 100%遊離シリカの値を用いて方程式 $3.0/(1.19 * (\%遊離シリカ) + 1)$ により算出されている。遊離シリカのパーセンテージが低いほどばく露限界値は高くなる。	JPISHL OEL
二酸化ケイ素 (アモルファス) [結晶質シリカ含有率 3%未満の鉱物性粉塵,吸入性粉塵]		1	時間加重平均(TWA):		JPISOH OEL
二酸化ケイ素 (アモルファス) [結晶質シリカ含有率 3%未満の鉱物性粉塵,総粉塵]		4	時間加重平均(TWA):		JPISOH OEL

管理濃度

参考

成分【規制物質】	ppm	mg/m ³	値型	短期暴露限界カテゴリ/備考	Regulatory list
ポリエチレン		10	時間加重平均 (TWA) :		ACGIH
ポリエチレン		3	時間加重平均 (TWA) :		ACGIH
二酸化ケイ素 (アモルファス)		3	時間加重平均 (TWA) :		ACGIH
二酸化ケイ素 (アモルファス)		10	時間加重平均 (TWA) :		ACGIH

設備対策: しっかりした換気／排気を確保すること。

保護具:

呼吸用保護具: 十分な換気を保つこと。
十分に換気ができない場合は適切な呼吸マスク

手の保護具: 適切な保護手袋

眼の保護具: 保護眼鏡を着用すること。

皮膚及び身体の保護具: 適切な保護服を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态:	液体	色:	黄
pH:	該当なし, 混合物は非極性/ 非プロトン性です。	臭い:	マイルド
沸点:	> 150 ° C (> 302 ° F)	融点:	該当なし, 製品は液体
蒸気密度:	> 1	密度:	1.15 - 1.2 g/cm ³
		蒸気圧:	データ無し/対象外
引火点:	> 100 ° C (> 212 ° F)		
爆発範囲 (下限):	データ無し/対象外	爆発範囲 (上限):	データ無し/対象外
水への溶解度	データ無し/対象外	粘度:	> 20.5 mm ² /s
自然発火点:	データ無し/対象外	可燃性:	データ無し/対象外
オクタノール/水分分配係 数	データ無し/対象外	分解温度:	データ無し/対象外
粒子特性	データ無し/対象外		

10. 安定性及び反応性

安定性:

反応性: 強酸と反応する。
強酸化剤と反応する。

化学的安定性: 推奨保存状態下では安定している。
避けるべき条件 安定した

混触危険物質: 適切に使用した場合特になし。

危険有害な分解生成物: 炭素酸化物
酸化窒素
刺激性の有機蒸気。

11. 有害性情報

一般毒性情報: 動物実験検査データなし。

11.1. 毒物学的影響情報

急性毒性（経口）：

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	値型	値	種	試験方法
1,4-ブタンジオールジメタクリレート	LD50	10,066 mg/kg	ラット	equivalent or similar to OECD Guideline 401 (Acute Oral Toxicity)
トリエチレングリコールジメタクリレート	LD50	10,837 mg/kg	ラット	指定されていません
ポリエチレン	Acute toxicity estimate (ATE)	> 5,000 mg/kg		専門家の判断
二酸化ケイ素（アモルファス）	LD50	> 5,000 mg/kg	ラット	OECD Guideline 401 (Acute Oral Toxicity)
1-アセチル-2-フェニルヒドラジン	LD 50	270 mg/kg	マウス	
1-アセチル-2-フェニルヒドラジン	LD50	270 mg/kg	ラット	指定されていません
マレイン酸	LD 50	2,400 mg/kg	マウス	
マレイン酸	LD 50	708 mg/kg	ラット	
マレイン酸	LD50	708 mg/kg	ラット	指定されていません
2-メチル-1,4-ナフトキノン	LD 50	500 mg/kg	マウス	
2-メチル-1,4-ナフトキノン	LD50	500 mg/kg	ラット	指定されていません

急性毒性（経皮）：

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	値型	値	種	試験方法
1,4-ブタンジオールジメタクリレート	LD50	> 3,000 mg/kg	ウサギ	指定されていません
トリエチレングリコールジメタクリレート	Acute toxicity estimate (ATE)	> 5,000 mg/kg		専門家の判断
ポリエチレン	Acute toxicity estimate (ATE)	> 5,000 mg/kg		専門家の判断
二酸化ケイ素（アモルファス）	LD50	> 2,000 mg/kg	ウサギ	OECD Guideline 402 (Acute Dermal Toxicity)
マレイン酸	LD 50	1,560 mg/kg	ウサギ	
マレイン酸	LD50	1,560 mg/kg	ウサギ	指定されていません

急性毒性（吸入）：

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	値型	値	試験環境	ばく露時間	種	試験方法
トリエチレングリコールジメタクリレート	Acute toxicity estimate (ATE)	28.17 mg/l	粉じん及びミスト			専門家の判断
ポリエチレン	Acute toxicity estimate (ATE)	> 5 mg/l	粉じん及びミスト	4 h		専門家の判断
二酸化ケイ素（アモルフラス）	LC0	0.139 mg/l		4 h	ラット	指定されていません
マレイン酸	LC 50	> 0.72 mg/l	吸入	1 h	ラット	

皮膚腐食性／刺激性：

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	結果	ばく露時間	種	試験方法
1,4-ブタンジオールジメタクリレート	刺激性なし	24 h	ウサギ	FDA Guideline
トリエチレングリコールジメタクリレート	刺激性なし	24 h	ウサギ	Draize test
二酸化ケイ素（アモルフラス）	刺激性なし	4 h	ウサギ	OECD Guideline 404 (Acute Dermal Irritation / Corrosion)
マレイン酸	刺激性	24 h	human	Patch Test

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性：

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	結果	ばく露時間	種	試験方法
1,4-ブタンジオールジメタクリレート	刺激性なし		ウサギ	equivalent or similar to OECD Guideline 405 (Acute Eye Irritation / Corrosion)
トリエチレングリコールジメタクリレート	刺激性なし		ウサギ	OECD Guideline 405 (Acute Eye Irritation / Corrosion)
ポリエチレン	刺激性なし	24 h	ウサギ	FDA Guideline
二酸化ケイ素（アモルフラス）	刺激性なし		ウサギ	OECD Guideline 405 (Acute Eye Irritation / Corrosion)
マレイン酸	highly irritating		ウサギ	OECD Guideline 405 (Acute Eye Irritation / Corrosion)

呼吸器又は皮膚感作性:

混合物は、混合物に存在する分類された物質の閾値を基に分類されている。

有害物質	結果	テストタイプ	種	試験方法
1,4-ブタンジオールジメタクリレート	sensitising	Mouse local lymphnode assay (LLNA)	マウス	OECD Guideline 429 (Skin Sensitisation: Local Lymph Node Assay)
トリエチレングリコールジメタクリレート	sensitising	Mouse local lymphnode assay (LLNA)	マウス	OECD Guideline 429 (Skin Sensitisation: Local Lymph Node Assay)
ポリエチレン	not sensitising	Mouse local lymphnode assay (LLNA)	マウス	OECD Guideline 429 (Skin Sensitisation: Local Lymph Node Assay)
マレイン酸	sensitising	Mouse local lymphnode assay (LLNA)	マウス	OECD Guideline 429 (Skin Sensitisation: Local Lymph Node Assay)
マレイン酸	sensitising	Mouse local lymphnode assay (LLNA)	モルモット	OECD Guideline 406 (Skin Sensitisation)
2-メチル-1,4-ナフトキノン	sensitising	Guinea pig maximisation test	モルモット	指定されていません

生殖細胞変異原性:

混合物は、混合物に存在する分類された物質の閾値を基に分類されている。

有害物質	結果	試験項目／管理経路	代謝活性化／ばく露時間	種	試験方法
1,4-ブタンジオールジメタクリレート	陰性	in vitro mammalian chromosome aberration test	有無		OECD Guideline 476 (In vitro Mammalian Cell Gene Mutation Test)
1,4-ブタンジオールジメタクリレート	陰性	bacterial reverse mutation assay (e.g Ames test)	有無		OECD Guideline 471 (Bacterial Reverse Mutation Assay)
1,4-ブタンジオールジメタクリレート	陽性	in vitro mammalian chromosome aberration test	有無		OECD Guideline 473 (In vitro Mammalian Chromosome Aberration Test)
トリエチレングリコールジメタクリレート	陰性	mammalian cell gene mutation assay	有無		OECD Guideline 476 (In vitro Mammalian Cell Gene Mutation Test)
トリエチレングリコールジメタクリレート	陰性	bacterial reverse mutation assay (e.g Ames test)	有無		OECD Guideline 471 (Bacterial Reverse Mutation Assay)
トリエチレングリコールジメタクリレート	陰性	in vitro mammalian cell micronucleus test	有無		OECD Guideline 487 (In vitro Mammalian Cell Micronucleus Test)
ポリエチレン	陰性	bacterial reverse mutation assay (e.g Ames test)	有無		Ames試験
二酸化ケイ素（アモルファス）	陰性	bacterial reverse mutation assay (e.g Ames test)			指定されていません
二酸化ケイ素（アモルファス）	陰性	in vitro mammalian chromosome aberration test			指定されていません
二酸化ケイ素（アモルファス）	陰性	DNA damage and repair assay, UDS in mammalian cells in vitro			指定されていません
マレイン酸	陰性	bacterial reverse mutation assay (e.g Ames test)	no data		Ames試験
マレイン酸	陰性	mammalian cell gene mutation assay	有無		OECD Guideline 476 (In vitro Mammalian Cell Gene Mutation Test)

発がん性

混合物は、混合物に存在する分類された物質の閾値を基に分類されている。

成分	結果	ばく露経路	ばく露時間 / 処置頻度	種	性別	試験方法
マレイン酸	not carcinogenic	oral: feed	2 y daily	ラット	male/female	OECD Guideline 451 (Carcinogenicity Studies)

生殖毒性

混合物は、混合物に存在する分類された物質の閾値を基に分類されている。

有害物質	結果 / 値	テストタイプ	ばく露経路	種	試験方法
トリエチレングリコールジメタクリレート	NOAEL P 1,000 mg/kg NOAEL F1 1,000 mg/kg		oral: gavage	ラット	OECD Guideline 422 (Combined Repeated Dose Toxicity Study with the Reproduction / Developmental Toxicity Screening Test)
マレイン酸	NOAEL F1 150 mg/kg NOAEL F2 55 mg/kg	2世代試験	oral: gavage	ラット	OECD Guideline 416 (Two-Generation Reproduction Toxicity Study)

特定標的臓器毒性（単回ばく露）：

データなし

特定標的臓器毒性（反復ばく露）：

混合物は、混合物に存在する分類された物質の閾値を基に分類されている。

有害物質	結果 / 値	ばく露経路	ばく露時間／処理頻度	種	試験方法
トリエチレングリコールジメタクリレート	NOAEL 1,000 mg/kg	oral: gavage	daily	ラット	OECD Guideline 422 (Combined Repeated Dose Toxicity Study with the Reproduction / Developmental Toxicity Screening Test)
マレイン酸	NOAEL $\geq$ 40 mg/kg	oral: feed	90 d daily	ラット	OECD Guideline 408 (Repeated Dose 90-Day Oral Toxicity in Rodents)

誤えん有害性：

データなし

12. 環境影響情報

一般環境有害性情報:

下水管／地表水／地下水に捨てないこと。

12.1. 生態毒性

毒性（魚）：

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	値型	値	ばく露時間	種	試験方法
1,4-ブタンジオールジメタクリレート	LC50	32.5 mg/l	48 h		DIN 38412-15
トリエチレングリコールジメタクリレート	LC50	16.4 mg/l	96 h	Danio rerio	OECD Guideline 203 (Fish, Acute Toxicity Test)
ポリエチレン	LC50	> 100 mg/l	96 h	Leuciscus idus	OECD Guideline 203 (Fish, Acute Toxicity Test)
二酸化ケイ素（アモルファス）	LC50	> 10,000 mg/l	96 h	Brachydanio rerio (new name: Danio rerio)	OECD Guideline 203 (Fish, Acute Toxicity Test)
マレイン酸	LC50	> 245 mg/l	48 h	Leuciscus idus	DIN 38412-15

毒性（ミジンコ）：

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	値型	値	ばく露時間	種	試験方法
マレイン酸	EC50	42.81 mg/l	48 h	Daphnia magna	OECD Guideline 202 (Daphnia sp. Acute Immobilisation Test)
2-メチル-1,4-ナフトキノン	EC50	0.31 mg/l	48 h	Daphnia magna	OECD Guideline 202 (Daphnia sp. Acute Immobilisation Test)

水生無脊椎動物に対する慢性毒性

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	値型	値	ばく露時間	種	試験方法
1,4-ブタンジオールジメタクリレート	NOEC	5.09 mg/l	21 d	Daphnia magna	OECD 211 (Daphnia magna, Reproduction Test)
トリエチレングリコールジメタクリレート	NOEC	32 mg/l	21 d	Daphnia magna	OECD 211 (Daphnia magna, Reproduction Test)
マレイン酸	NOEC	10 mg/l	21 d	Daphnia magna	other guideline:

毒性（藻類）：

ヘンケルジャパン株式会社

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	値型	値	ばく露時間	種	試験方法
1,4-ブタンジオールジメタクリレート	EC50	9.79 mg/l	72 h	Desmodesmus subspicatus	OECD Guideline 201 (Alga, Growth Inhibition Test)
1,4-ブタンジオールジメタクリレート	NOEC	2.11 mg/l	72 h	Desmodesmus subspicatus	OECD Guideline 201 (Alga, Growth Inhibition Test)
トリエチレングリコールジメタクリレート	EC50	> 100 mg/l	72 h	Pseudokirchneriella subcapitata	OECD Guideline 201 (Alga, Growth Inhibition Test)
トリエチレングリコールジメタクリレート	NOEC	18.6 mg/l	72 h	Pseudokirchneriella subcapitata	OECD Guideline 201 (Alga, Growth Inhibition Test)
マレイン酸	EC50	74.35 mg/l	72 h	Pseudokirchneriella subcapitata	OECD Guideline 201 (Alga, Growth Inhibition Test)
マレイン酸	EC10	11.8 mg/l	72 h	Pseudokirchneriella subcapitata	OECD Guideline 201 (Alga, Growth Inhibition Test)
2-メチル-1,4-ナフトキノ	EC50	0.064 mg/l	72 h	Desmodesmus subspicatus	OECD Guideline 201 (Alga, Growth Inhibition Test)
2-メチル-1,4-ナフトキノ	NOEC	0.009 mg/l	72 h	Desmodesmus subspicatus	OECD Guideline 201 (Alga, Growth Inhibition Test)

微生物に対する毒性

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	値型	値	ばく露時間	種	試験方法
1,4-ブタンジオールジメタクリレート	NOEC	20 mg/l	28 d	activated sludge, domestic	指定されていません
ポリエチレン	EC0	> 1,000 mg/l	3 h	指定されていません	OECD Guideline 209 (Activated Sludge, Respiration Inhibition Test)
マレイン酸	EC10	44.6 mg/l	18 h	Pseudomonas putida	DIN 38412, part 8 (Pseudomonas Zellvermehrungshemm-Test)

12.2. 残留性と分解性

有害物質	結果	テストタイプ	分解性	ばく露時間	試験方法
1,4-ブタンジオールジメタクリレート	readily biodegradable	aerobic	84 %	28 d	OECD Guideline 310 (Ready Biodegradability: CO2 in Sealed Vessels (Headspace Test))
トリエチレングリコールジメタクリレート	readily biodegradable	aerobic	85 %	28 d	OECD Guideline 301 B (Ready Biodegradability: CO2 Evolution Test)
ポリエチレン	容易に生分解されていません。	aerobic	1 %	28 d	ISO 10708 (BODIS-Test)
マレイン酸	readily biodegradable	aerobic	97.08 %	28 d	OECD Guideline 301 B (Ready Biodegradability: CO2 Evolution Test)
2-メチル-1,4-ナフトキノ	not inherently biodegradable	aerobic	0.000000 %	28 d	OECD Guideline 302 C (Inherent Biodegradability: Modified MITI Test (II))

12.3. 生態蓄積性

データなし

12.4. 土壌中の移動性

有害物質	LogPow	温度	試験方法
1,4-ブタンジオールジメタクリレート	3.1		OECD Guideline 117 (Partition Coefficient (n-octanol / water), HPLC Method)
トリエチレングリコールジメタクリレート	2.3		OECD Guideline 117 (Partition Coefficient (n-octanol / water), HPLC Method)
1-アセチル-2-フェニルヒドラジン	0.74		指定されていません
マレイン酸	-1.3	20 ° C	OECD Guideline 107 (Partition Coefficient (n-octanol / water), Shake Flask Method)
2-メチル-1,4-ナフトキノ	2.43	30 ° C	OECD Guideline 117 (Partition Coefficient (n-octanol / water), HPLC Method)

12.5. PBTおよびvPvB評価の結果

この混合物には、PBTまたはvPvBと評価される物質は含まれていません。

12.6. 他の有害影響

データなし

13. 廃棄上の注意

推奨廃棄方法:

国及び地方自治体の規則に従って廃棄すること。

汚染容器包装の廃棄方法:

使用後は、残留物の付着したチューブ、箱、ボトル は化学汚染物質として公認された埋め地に処理するか焼却する。
廃棄処理は必ず法規制に従って行うこと。

14. 輸送上の注意

Marine transport IMDG:

危険物には該当しない。

Air transport IATA:

危険物には該当しない。

国内輸送規制:

陸上輸送: 消防法、労働安全衛生法、毒劇物法等に該当する場合は定められている運送方法に従う。

海上輸送: 船舶安全法に定められている運送方法に従う。

航空輸送: 航空法に定められている運送方法に従う。

15. 適用法令

労働安全衛生法:

該当しない

消防法

第4類引火性液体, 第4類 第3石油類(非水溶性)

毒物及び劇物取締法 : 該当しない

PRTR 法 : 該当しない

16. その他の情報

発行日: 08.08.2023

注意: この安全性データシートは日本工業規格 (JIS: Z 7253) に基づいて作成しており、日本の法律にのみ則った情報を提供しております。他の管轄地域又は国の実体法または輸出法に関しては、いかなる種類の表明又は保証も行いません。ここに提供している情報が他の管轄地域の実質的な輸出又はその他の法令に準拠していることを輸出前に確認して下さい。ご不明な点がございましたらHenkel Product Safety and Regulatory Affairsにお問い合わせ下さい。

この情報は現況での化学的根拠と発送された製品の状況を元に作成したものである。またこれは安全を説明するための情報で、製品の特性を保証するものではない。

ここに表明したデータは信頼性があると考えられるが単に情報として挙げただけである。Henkel社のコントロールが及ばない人々が得た結果については責任を持たない。Henkel製品の適切性、特定目的で使用する際の製造方法、Henkel社製品の取扱いや使用に関わる危険性から人や資産を守るための予防処置などの見極めはユーザーの責任の元行われるべきである。以上の説明の元、Henkel社は、明示・暗示に関わらず、特定用途に対する市場性・適切性を含む、製品の販売・使用に関わるすべての保障への責任を拒否する。更にHenkel社は、損益を含むいかなる2次的・偶発的損害についての責任も拒否する。